



第2巻  
第17号

平成24年8月1日

**JASWHS** 公益社団法人 日本医療社会福祉協会  
Japanese Association of Social Workers in Health Services

## 東日本大震災 MSW災害支援ニュース



群馬県立ぐんま天文台（高山村）

### 目次

1. 災害対策本部からのお知らせ
2. 災害対策本部会議の議事録
3. 現地支援活動報告①②③
4. 事務所・現地感想文

## 災害対策本部からのお知らせ

### 協力員募集！！

#### 引き続き協力員を募集しています。

＜現地＞現地の業務状況を鑑み、当面は制限なく受け入れを行います。

中3日以上・なるべく平日の活動が理想的ですが、具体的な日程については、災害対策本部までお気軽にご相談ください。

8月、9月についてもまだまだ空いております。

＜事務所＞平日のみの活動ですが、1～2ヶ月に1回でも構いません。

**皆様のご協力をお待ちしております！**

### 次回災害対策本部会議について

7月21日(土)に実施した災害対策本部会議の議事録は3に掲載しています。

ご覧ください。

次回は9月7日(金)19:00～ 協会事務所に開催します。

ご意見や検討事項がありましたら、9月3日(月)までに災害対策本部まで、電話やメールでお寄せ下さい。

### 現地・事務所職員募集！！

災害対策本部では現地・事務所職員を随時募集しています。

災害支援に関心のある方からのご応募をお待ちしております。

または周りでご興味のある方がいらっしゃいましたら、ぜひご紹介下さい。

#### (1) 現地常駐者（短期契約職員）

- ・就業場所：宮城県石巻市大街道北
- ・就業時間：9～17時
- ・休日：土曜・日曜・祝日・年末年始
- ・基本給 250,000円/月 通勤費は実費支給
- ・社会保険加入
- ・医療ソーシャルワーカー業務経験必須
- ・長期の方優遇

#### (2) 災害対策本部事務所担当（パート職員）

- ・就業場所：協会事務局内
- ・就業時間：週4日程度 10～17時
- ・休日：土曜・日曜・祝日・年末年始
- ・時給 900円～ 通勤費は実費支給
- ・経験不問、医療ソーシャルワーカー業務経験者優遇

ご応募の方は下記宛に履歴書をお送り下さい。面接にて決定させていただきます。

または災害対策本部までお気軽にお問い合わせ下さい。

〒162-0065 東京都新宿区住吉町8-20 四谷ヂンゴビル

TEL：03-5366-1057 担当：笹岡・中川

## 書籍販売のご案内

『東日本大震災 医療ソーシャルワーカーの支援のバトン1』の販売を行なっています。

発災から9月30日までの石巻・仙台・大槌町・事務所・災害対策本部の活動の記録をまとめました。ぜひご覧になってください。

尚、売上金の全額を皆様からの寄付として、本活動の資金に充てさせていただきます。

※ご注文は注文用紙で承ります。下記よりダウンロードしてください。

URL：[http://www.jaswhs.or.jp/data/publishing\\_detail.php?@DB\\_ID@=45](http://www.jaswhs.or.jp/data/publishing_detail.php?@DB_ID@=45)



## Facebook ・ YouTube で情報をお伝えしています！！

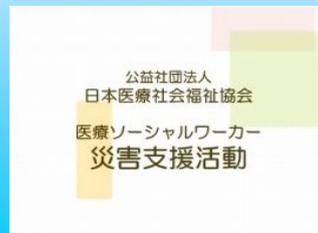


-Facebook URL-

<http://ja-jp.facebook.com/pages/公社日本医療社会福祉協会-災害対策本部/156327867812970>

- YouTube URL-

<http://www.youtube.com/watch?v=vn34I9h5rJ4&feature=youtu.be>



群馬県立ぐんま天文台のモニュメント

## 第7回 災害対策本部会議

2012.7. 21 (土) 18:00~

(敬称略・順不同)

**出席** 佐原・笹岡・武山・梅崎・飯島・東・袴谷・林・篠原・三輪

**欠席** 山田・小淵・坪田・中川

### 1. 災害対策本部 事業全体について

#### (1) 財政面

##### ● 災害支援事業 収支月次推移表

- ・ 災害の収入のうちで石巻市には前期分を送付。
- ・ 大和証券福祉財団より 50 万円の助成決定あり。

#### (2) 人事

##### ● 職員

【現地】 武山ゆかり：8月1日で常勤業務終了。8月2日よりは支援協力員扱い

\*当面は出来る限り石巻活動に参加協力

責任者：久保木美由紀

依光則子

中辻康博（～ 9月）

- ・ 現地職員にも個室を用意する必要があるが、8月・9月にボランティアを多く受け入れている点、予算の点から、当面は難しい。なるべく早く対策をとる。
- ・ 調査は、今のところ9月いっぱいの予定で調査。10月までずれ込む可能性もある。11月以降はサポートセンターを使える可能性あり。

【事務所】 一原：6月20日で終了

三輪：6月から月・水・金

\*事務所責任者 → 事務所アドバイザー：東

- ・ 事務所に週2~3回、パート職員として来られる人を募集する。

##### ● 協力員 当面のルール

【現地】

- ・ 現地の業務を鑑み、6~9月は無制限に受け入れ
- ・ 期間は原則として移動を含まず中3日以上(特に初回参加者は3日以上)
- ・ 各都道府県で災害支援活動の予算立てをしている場合は、費用負担を相談する
- ・ ケースの件数はこれから増加の見込み。

【事務所】

- ・ 月~金 10時~17時

#### (3) 研究組織について

- ・ 前回会議であがった「検証委員会」については保留

#### (4) 災害支援 SW 報告会

- 今後の開催地（今後どのようにしていくか）

※これまで県協会として参加のあった地域…北海道、石川、四国（愛媛・高知）、新潟

※開催県、旅費の都合がつけば、武山、出張報告可

#### (5) ニッセイ財団助成金事業

- 8月4日（土）災害ソーシャルワーク研修Ⅱでの「演習」の進め方について

#### (6) 日本ソーシャルワーク学会

- 6月10日（日）PM 中間報告 終了

- 10月末 学会誌 原稿締切 → 学会誌への原稿、研究の方法については、理事会で検討。

#### (7) IFSW 国際会議(ストックホルム7月5日～13日)

- ポスター発表終了

#### (8) 『災害時ソーシャルワークの理論化に関する研究』への寄稿

- ・8月20日原稿締切。写真はすでに公表済みの物から選択。（担当；武山）

## 2. 事務所支援活動

### ●広報

- ①Facebook リーチした人の数：24人

- ②書籍販売；東日本大震災 医療ソーシャルワーカーの支援のバトン1』

※7月18日現在、在庫2340冊（販売413冊・寄贈247冊）\*現地石巻での寄贈分含む。

- ③YouTube、ホームページへの動画アップ

- ・一原が作った動画をアップ。（HPには最初のページにバナーをつけた。）

- ④神奈川県協会のHP「災害支援の枠組み」を掲載するとのこと

### ●災害支援ニュースについて

- ①ニュース作成担当者（群馬県協会内で引継ぎ）

国立病院機構沼田病院 小淵：～8月3日で終了

↓

前橋赤十字病院 鈴木：8月6日～作成開始。2～3ヶ月の予定。

## 3. 現地支援活動

### ●月報について

- ・飯島が作成。現地の職員と相談しながら項目を決めている。
- ・いくつか修正を加え、週明けにも完成。
- ・日報も月報に合わせて少しずつ変えているところ。

●現地石巻 災害時の対応について

- ・業務マニュアルに掲載
- ・避難場所は臨機応変に 7月8日(日)石巻市避難訓練に参加(好文館高校・中里小学校)

●今後の協力員受け入れについて提案

- ・経費問題への対応として、交通費自己負担または所属協会一部負担などを「研修」への日本協会の協力という形。
- ・10月から、「災害SW」研修扱いで原則3日コース。交通費食費自己負担。宿泊無料。

【現地でのカリキュラム】\*報告書提出で、認定ポイント加算対象

- ①被災地見学(地図に従って自分達で行く。女川、渡波仮設、日和山・門脇地区)
- ②朝ミーティング参加、調査アセスフォロー訪問同行(復興の様子、経過を聞く)
- ③仮設茶話会参加または仮設居住者訪問同行(被災者から話を聞く)
- ④災害復興支援協議会仮設サロン支援会議または在宅支援会議参加(経時的変化とボランティアの役割、仮設の状況について知る)
- ⑤まとめ 現在滞在MSWから災害支援について学ぶ
- ⑥経済復興支援

- ・研修案。研修として自己負担での参加。募集は随時。
- ・日頃、活動について心配で支援に来られない方がいるので、一度研修で受け入れ、2回目は協力員で参加という形を取ってはどうか。
- ・長い目で見て活動していくなら、こうした活動は一つの方法である。まだ活動に参加していない県の方にも協力してもらえきっかけになるのではないだろうか(九州など)。  
→検討して、形にする。

#### 4. 今後の会議予定

●9月の予定

9月7日(金)19時~

●10月の予定

10月6日(土)18時~

## 現地支援活動報告①

茂田 郁美（神奈川県 帝京大学医学部附属溝口病院）

期間：7月15日～7月17日

私は災害対策本部発足当初は事務所ボランティアをしておりましたが、今回初めて現地支援活動に参加致しました。ニュースや写真などの報道ではわからない、“現地の空気”があると肌で感じました。

活動内容は、被災者宅への訪問とフォロー電話です。自宅訪問は、石巻駅周辺、北上町、渡波に伺いました。北上町は同じ石巻市でも活動拠点の中里からは非常に遠く、また、地図上にはあるはずの場所に家がない、橋がもぎ取られているなど、津波の痕跡が未だ残っており、私は言葉を失いました。訪問先の住民に現在の様子を伺っていても、震災当時の様子が語られることもありましたが、それでも少しずつ、前に進んでいる、印象を受けました。

現地支援活動は、SW が見つないできた活動のバトンが現在の活動に受け継がれていると、強く感じました。

私に関わったのは活動の一部ですが、今後長期にわたる支援活動が重要であると思いました。

## 現地支援活動報告②

倉友 克美（大阪府 済生会野江病院）

期間：7月19日～7月21日

震災直後から、自分に何かできることはないのだろうかと思いながら、実際にはなかなか動けずにいました。一方で、活動はしたいが、私は現地でSWとして役に立つのだろうかと思いを抱きつつ参加しました。

しかし、地元から旧知のSW 3名で臨んだこと、現地の協会拠点SWの皆様が暖かく受け入れてオリエンテーションして下さったことにより、全日、安心して活動に参加することができました。

活動日誌を読むなど事前学習の上で参加したつもりでしたが、当初はクラウドシステムの扱いに慣れることや、石巻医療圏 健康・復興協議会の全体像を把握することに時間を要しました。フォロー電話の第一報をかけるまでは緊張し、記録の読み取りや事例の把握について時間をかけてしまいました。

前泊1日、活動期間は計3日でしたが、初期起動が遅かったと反省しています。

地図を頼りに、迷いながら在宅被災者のお宅を訪問し、直接お話を伺うことで、震災一年を経ても被災された方の生活困難はまだ回復していないこと、我々SWにできることがたくさんあることを実感しました。日本協会から今回の活動の機会を頂いて、感謝しています。

## 現地支援活動報告③

渡邊 由美（大阪府 済生会中津病院）

期間：7月19日～7月21日

初めて東北方面（宮城県）の地に足を踏み入れ、震災被害の大きかった石巻市に行き、目の当たりにした光景に衝撃を受けました。元々、風光明媚な町が、一瞬にして変わり果ててしまい、1年半近く経過しても、がれきや倒れて放置された建物が点在している現状を見てまだまだ復興には、厳しいものがあると感じました。

活動は、対策担当のSWの方々に教えていただきながら、同行させてもらって調査後のフォローアップが必要な在宅避難者への電話や訪問による相談、仮設住宅での茶話会の参加等をさせていただきました。同行も含めてどのように接したらいいのか、声がけをしたらいいのか、正直に言うと戸惑いを感じました。また、避難者の方からも大阪から来ましたと言っただけで、逆に労をねぎっていただきながら、お話を下さったのが印象的でした。

3日間の活動だけに少し慣れてきたところで終了となってしまい非常に心残りではありましたが現地に行き、活動させていただいたことは貴重な経験になりました。また是非、参加したいと思っています。

対策担当のSWの方々には、大変お世話になりました。ありがとうございました。

## 現地感想文

7月23日（月）

週初め、お天気は曇りがちですが、すごしやすい気候です。

7月24日（火）

「石巻川開き」を控えて、街中もにぎわい始めました。

小学校では昨日「川開きパレード」の鼓笛隊の練習が繰り返し行われていました。

土日には様々なイベントが行われ、朝夕もジョギングやウォーキングの方の姿も増えています。

少しずつ、「元の生活」が戻り、文化や伝統が人々に元気を取り戻してくれつつあります。

7月25日（水）

梅雨らしく遠方の山も霞む一日でした。もうすぐ暑い日が続くかと…。

石巻はいつも平均の2.3℃低目。東北の避暑地です。

今日は、ひっそりと水辺で暮らすご家族を訪問。年金のみの暮らしは暑さ寒さにもご苦労が見え隠れします。

7月28日（土）

梅雨が明け、石巻も暑い日が続いております。

7月26～28日来ていただいた協力員の方の感想をご紹介します。

**M.Y 様**

本日が最終日。3日目にしてようやく電話で協議会名をかまずに言えるようになってきました。被災者の方の前向きな言葉を聴く度に、こちらが元気づけられます。今日が終わってしまうことが残念です。

**S.M 様**

初めての現地支援です。これまでの協議会対応ケースのフォローを通じて街はきれいに映っても、石巻の皆様個々のくらしや生活の再生は、まだまだ時間が必要と実感しました。健康な生活へは、衣食住、そして仕事が不可欠です。支援の内容は多彩です。

## 事務所感想文

7月27日（金）

**三輪（事務所担当）**

毎日暑いですね。7月～8月にかけてたくさんの協力員さんが現地に行って下さっています。それに励まされて、事務所も頑張って暑い夏を乗りきります！！